

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 キッズとらいあんぐる

公表日 R6 年12月12日

Table with 6 columns: Check Item, Yes, No, Points for Improvement, and Issues/Improvement Points. Rows are categorized into Environment/Policy Adjustment, Business Improvement, and Appropriate Support.

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）を作成し、支援が行われているか。	○	出来る限り個々のニーズに合わせて対応しながら、個別・集団のどちらかに偏らない様に努めている。社会生活へ向けての計画で支援計画を作成しているため、個別支援も集団支援もどちらも取り入れられるように努めている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	朝礼を全員で行い、チームで動いている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	終礼を全員で行い、共有している。また重要なことは議事録に残している。	個々の職員同士では共有が出来ているが、全体的な振り返りの時間はなかなか取るのが難しいこともあるので改善していけるように努めている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	誰でもが確認できる業務日誌にて支援の記録を取るものとする。支援時に気づいたことは、都度指導員間で共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画（放課後等デイサービス計画）の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	モニタリング検討会議を見直し時期に合わせて行っている。	
	24	【放デイのみ】放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。	○	ガイドラインを確認しながら、支援に反映させている。	当事業所ならではの特色を出す。
	25	【放デイのみ】こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	そのお子さまに合った選択方法の中から、少しずつ自己決定する力を育てられるよう努めている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	会議の日程等にもよるが、出来る限り参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	児発管が着任したばかりなので、今後密に連絡を取っていけるよう順次ご挨拶等に何う予定にはしている。	
関係機関や保護者との連携	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○	児発管が着任したばかりなので、今後密に連絡を取っていけるよう順次ご挨拶等に伺い、これから連携を図る体制をとっていく。	
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等、または放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	地域社会との交流は、公園など外出した際に限られている。公園等に遊びに行つたときには、様々な年代のお子様と触れ合える機会を作るようにはしている。	
	30	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	面談のご希望や送迎時等にお話が出た場合、一旦話を持ち帰り、必ず職員間で共有している。日頃から保護者の方々とお話をするようには心掛けている。	
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	家族支援自体は現時点では行っていない。	ペアトシは今のところ予定していないが、希望があれば計画していく。
	32	【児発事業所・児発センターのみ】併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	希望があれば検討する。	
	33	【児発事業所・児発センターのみ】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	希望があれば検討していく。	
	34	【児発センターのみ】地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	35	【児発センターのみ】質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。			
	36	【児発センターのみ】（自立支援）協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	37	【放デイのみ】学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	送迎時、トラブルが発生した時には連絡を入れるようにしている。	情報共有、連絡調整がスムーズにいくところまでは連携できていない。
	38	【放デイのみ】就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○	相談員の方よりお話は伺っている。	児発管不在の期間が長かったため、学校等との関係性は構築途中であり、今後連絡をとっていけるようにしていく。
	39	【放デイのみ】学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○	現在 該当するお子さまはいらっしゃらない。	



	40	<u>【放デイのみ】</u> (自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	○	現在 該当するお子さまはいらっしゃらない。	現時点では指導員は参加していない。
保護者への説明等	41	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約時にそれぞれの書類にて、丁寧に説明を行っている。	
	42	児童発達支援計画 (放課後等デイサービス計画) を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者様の意思をお伺いしたり、尊重する機会が多くなりがち。本児の気持ちや意思を聞く機会を増やす。現時点では送迎時や療育中に本児から聞く事が多いため面談と言う形をとる事も検討する。
	43	「児童発達支援計画 (放課後等デイサービス計画)」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○	児童発達支援ガイドラインに沿って行っている。	
	44	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	ご相談があれば都度対応している。	
	45	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	児発管が着任したばかりなので、今後どのように進めていくのが良いのか検討しているところである。	現時点では行っていない。
	46	こどもや保護者からの相談や苦情、申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や苦情、申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	苦情対応窓口を設置している。	
	47	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	11月よりブログにてお子様の療育のご様子を見てもらえるようにしている。	以前はお便りを発行していたが、児発管不在時はできていなかった。11月よりこまめにブログはあげている。
	48	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	鍵にかかる棚にて取り扱いをしている。	職員等からの意見があれば、その都度改善に努めている。
	49	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	連絡帳にて保護者との連絡は密にとっている。	発語の無いお子様との意思の疎通が視線、行動、喃語等になりがちなので絵カードなどを使用して確実に伝えていく方法を提案していく。
	50	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	現在 大々的な行事は行っていない為、地域の方々を招待するようなことは行っていない。こちらから児童館や公園などに行った時は、地域の方との触れ合いも考えながらやり取りはするようにしている。 この建物で何が行われているか建物内の様子を見てくれる人にはお話するようにしている。	今後どのように地域の方々と交流していき、相互理解を深めていくか検討中。
51	<u>【放デイのみ】</u> 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	ご希望のあるご家庭は、事業所内にて相談を受け付けている。		
非常時等の対応	52	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	年間計画を立て、実施している。	マニュアル等は作成し共有しているが、訓練内容が固定化しているように思われる。訓練内容の見直しを検討していく必要がある。
	53	業務継続計画 (BCP) を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	年間計画を立て、実施している。	内容がマンネリ化していないか検討の余地あり。
	54	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○	保護者様より、お子さまの状況を書面にて提出していただいている。	
	55	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	保護者様から聞き取りをし、それに基づき対応をしている。	
	56	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全管理には十分配慮している。	更に具体的な研修、訓練回数を増やすように努める。
	57	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		
	58	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	日々日常に起こりうる些細なことも職員間で共有し、再発防止に取り組んでいる。	
	59	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	必要な虐待防止の研修に取り組んでいる。	更に研修を受け、虐待に関する知識を深めていきたい。
60	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	計画書には記載していないが、研修は計画的に行っている。契約時に身体拘束の説明を十分に行い、同意を得ている。	身体拘束の基準もどんどん変わっていついつの間にか変わっているため、最新の知識を研修等で身につけていきたい。	